

令和6年度志摩市地域公共交通会議 第1回全体会 議事概要

日 時 令和6年6月28日(水) 13時30分～

場 所 志摩市消防本部 会議室

【出席委員】

志摩市副市長	村上 圭一
名古屋大学大学院環境学研究科 教授	加藤 博和
近鉄グループホールディングス株式会社 伊勢志摩支社部長	今北 実
近畿日本鉄道株式会社鉄道本部名古屋統括部 運輸部長	赤井 智明 (代理：中田 義彦)
三重交通株式会社 志摩営業所長	川北 幸宏
一般社団法人三重県タクシー協会 伊勢志摩支部長	小崎 琢也 (代理：末吉 利教)
一般社団法人志摩市観光協会 専務理事	岡田 英美
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 会長	前田 正典
間崎自治会 会長	下川 元三
三重県立水産高等学校 校長	谷奥 茂
中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官	小島 光洋
中部運輸局三重運輸支局 鳥羽海事事務所長	中村 陽一
三交伊勢志摩交通労働組合 書記長	西尾 祥貴
志摩マリインレジャー株式会社 取締役社長	矢尾 弘
三重県鳥羽警察署 交通課長	下里 和輝
三重県志摩建設事務所 道路課長	山下 智也
三重県地域連携部 交通政策課長	藤田 雄一 (代理：保村 好郎)
三重県南部地域活性化局 次長兼南部地域振興企画課長	山本 佳子
志摩市政策推進部長	山本 和輝

【欠席委員】

志摩市長	橋爪 政吉
志摩市自治会連合会 (浜島町自治会連合会 会長)	柴原 伸行

事務局	<p>【資料の差し替えと説明】</p> <p>つづきまして議長の選任ですが、議長につきましては、同要綱第4条第2項の規定により、会長が議長を指名することとなっておりますが、本日、会長であります橋爪市長が公務により欠席のため、事前に橋爪会長が指名しております、副市長の村上委員に議長をお願いいたします。</p> <p>それでは村上議長、よろしく申し上げます。</p>
議長	<p>はい。改めまして、みなさん、こんにちは。</p> <p>本日の議長を務めます、志摩市副市長の村上でございます。委員の皆さまにおかれましては大変お忙しい中、第1回の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。市長に代わりまして御礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>志摩市におきましては、報道等にもありますようにかなり全国的な傾向でございます人口減少が進んでおりまして、令和5年度の出生数が123人と、非常に危機的な状況でございます。こういったなかにおいて、市長も、地域公共交通については非常にしっかり取り組んでいかななくてはならない課題であるという認識がありまして、本年度からは市長自らが会長を務めさせていただきたいと考えております。といいながら、本日は別公務で欠席させていただきますことを、改めてお詫び申し上げます。</p> <p>本日はさまざまな議題をご用意しております。後半は若干、固まっていない部分がありご紹介にとどまる部分もございますが、皆様の活発な議論によりよい会議にしていきたいと思っておりますので、ご協力の方、よろしくお願い申し上げます。それでは着座にて進めさせていただきます。</p> <p>本日の第1回全体会は、報告事項が5つでございます。事項書に沿って進めていきたいと思っております。</p> <p>議事に入る前に、「地域公共交通について活発でよい議論ができる会議のために」ということで、中部運輸局三重運輸支局さまよりご説明を賜りたいと思っております。</p>
三重運輸支局	<p>三重運輸支局企画調整担当のAと申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。着座にて失礼させていただきます。ご存知のように、公共交通については長期的な少子高齢化、人口減少に伴い緩やかに輸送人員が減少傾向となっております。そのような中、令和元年度後半は、新型コロナウイルス感染拡大で外出の自粛等もございまして、とりわけ令和2年度、3年度、4年度あたりについては輸送量が大きく減少しております。昨年度からは観光需要も含めて輸送量が回復しつつございますが、まだコロナ禍前までには至っていない現状でございます。また、以前から課題となっておりますが、運転士</p>

	<p>をはじめとした公共交通の担い手不足の進行化も大きな課題となっております。このような中ですが、公共交通は、通院、買い物、通学、通勤、観光、また友だちと遊びに行くなど、普段使いをしていただけるような非常に暮らしに根付いたものになっています。</p> <p>このまま公共交通を使える形で維持、活性化していくためには、交通事業者だけではなく、利用者の方、行政、関係者がみんなで意見交換、協議をしながら取組を進めていく必要がございます。国土交通省においても、このような地域公共交通会議を非常に重要視しております。例えば、協議会等で協議を経て取り組まれるものについては、許認可が必要なものでも審査期間を短縮化したり、何か補助制度、事務措置を活用いただく際に採択されやすい形になったりしております。みなさまにおかれても、今年度も引き続き活発な意見交換、協議をいただきますよう、よろしくお願いいたします。三重運輸支局からは以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。質疑はなく、ご紹介ということでした。</p> <p>それでは、議事の2つめ、報告事項に移らせていただきます。報告事項の1番目、令和5年度デマンド交通実証運行結果および令和6年度運行計画について、事務局から説明をいたします。</p>
事務局	<p>【資料1の説明】</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から説明いただきましたが、これに対するご意見ご質問等お受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員 B	<p>みなさん、本当に意見ないですか？この資料、よく見てくださいよ。僕は2つ質問したいです。まず実利用者数、登録した中で利用した方が何人か、それから収支率、200円の運賃ですがそれに対して経費はどれくらいかかったのか、それを教えてもらえますか？</p>
事務局	<p>申し訳ありません。いま、ご質問の資料を持ち合わせておりませんので、改めてご回答させていただきたいと思います。</p>
委員 B	<p>基本中の基本なのに、どうしてその資料がないんですか。話にならないですよ。</p> <p>これ、200円で町内移動できるという、お得な交通機関ですよ。それを自分で勉強しないでいて、わからないから教えろって、高齢者かどうか知らないけど、どれだけわがままなんですか。タクシーに乗ったら何千円するのを200円で安く乗れるのだったら、普通は勉強して乗るでしょ。それを</p>

	<p>教えてくれないと乗らないって、甘えすぎじゃないですか。これ以上、教えることはあるんですか？あるいは、割引とかって、これ以上割り引いて意味があるんですか？ほぼ無料になってくるじゃないですか。そこまでやる必要はないと思いますよ。1日4人とか6人しか使っていないのだったら、普通にタクシー予約で捌ける人数なんだから、タクシー割引にすればいいでしょ。こんなシステム入れてお金かけて、だけどそれで全然予約する人がいないって、意味ないじゃないですか。使った人は、本来高いものを安く使えたんだから、文句言いたくなるけどこれだけ安かったら、それは助かったって言うに決まっているじゃないですか。どう思いますか？</p> <p>多分、収支率10%未満ですよ、どう考えても。もっと低いかもしれないけど。それで、1日10人くらいを救っている。救っているのか得しているのか、そういう実験ですよ、これは。</p>
委員 C	<p>すみません。収支まではわからなくても、この事業費ってわかっていますよね。いくらなんですか？</p>
委員 B	<p>データをざっと取っているんだから、タクシー料金だったらいくらだからって、すぐに出るはずでしょ。</p>
議長	<p>事務局、わかりますか？</p>
事務局	<p>総事業費としましては、1837万4521円です。</p>
委員 B	<p>合計の利用者数は何人でしたっけ？</p>
委員 C	<p>いや、延べ537って書いてあるから、割ったら一人にどれくらいかけているのかなあって思って。ひとり、万単位。</p>
事務局	<p>合計利用者数としましては、607名となっております。</p>
委員 B	<p>1800万円を600で割ると、3万円ですからね。別にそれ自体は、初期投資とかもあるので悪いとか、3万円そのものとは思わないですけど、200円で乗っていて3万円かかっているもの、という自覚があるのかっていうことなんです。</p> <p>この事業については、せめて収支率10%くらいまでは持っていかなきゃいけないでしょ。それより低いなんておかしい。そう思うと、そういう見込みがあるのかを知りたいのに、ここからはそれが見出せない。それを怒っているのに、説明としては、どんどんみんなに周知されて広まっていけばよく</p>

	<p>なるみたいなことを言っていますけど、乗り合い率が高まらなければ運行が増えるだけなんで、結局経費としては上がっていくんですよ。このやり方だと、今より何倍も、あるいは何十倍も乗らないと、1人とか1回あたりが何万が、何千とか何百とかなるってことにはなかなかならないでしょ。それはまずくないですか？</p> <p>今回は実験だからいいけど、何年間のうちにそうなるようにもっていかなければいけないっていう展望は見出せない。どんどん広まっているとか言っているけど、別に加入者数が上がっているわけじゃないのでそうとも見えない。加入者のなかで実際どれだけ利用しているかという実利用者率は、全国的には10%から20%くらいの間と言われている。つまり、登録はするけど使わない人の方が圧倒的に多いんです。でも、その10%20%が何百人といて、そういう人たちが月に1回でも2回でも使ってくれば何千人の利用になるわけだから、今の10倍になるでしょ。そこまでいったら、まだもう少し格好がついてくるんですけど、そういうことが全く見出せない資料に感じる。あるいは、もっと違うやり方があるかもしれないけど、そういうことを拭って、これはすごくいいことだったというような言い方をした説明に対して、僕は不信感を抱いて、それで怒っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。行政の悪いところが出てしまっていると私も反省しております、分析が足りないという風にも感じております。そのうえで、当然のB委員のご指摘だと思いますので、分析結果がしっかりしていないのでアドバイスいただける場所も少ないかもしれませんが、前向きに次の実証試験に向けてみなさんのさまざまなご意見をいただけたらと思います。いかがでしょうか。</p>
委員B	<p>反論とかあれば言ってくださいね。100%正しいかどうかはわからないので。100%正しいつもりでは言っていますけども。学者として、この資料を見たときの評価をしているだけですから。</p>
委員D	<p>三重交通のDと申します。志摩町、大王町のデマンド交通に当社も関わりを持っています。この御座線がうちの路線であります、これは志摩市さんとデマンドを走らせるにあたってのうちの要望として、バスへの影響が非常に危惧されるという話もさせていただきました。そういった部分で、バスへのアピール、乗り継ぎはこういう風に、というところも今後も協議していきたいと思っておりますし、高齢者利用について、また先ほど阿児町でも実施するというので、当社と今後も意見交換、調整もよろしくお願ひしたいと思っております。今後に向けて、ということで私の意見です。</p>

議長	<p>ありがとうございました。他に、いかがでしょうか。</p>
委員 B	<p>はい、いいですか？</p> <p>でも、今のこの200円設定だったら乗り継ぎする必要は皆無でしょ。英虞湾定期船は意味があると思います。和具港を降りて1キロ歩きたくない人がいた時に、200円だったらまだ乗る可能性はある。あるいは、もっと遠いところだったら十分乗るから英虞湾定期船とは非常に相性がいいと思います。それでも、本当に200円でいいのかというと、よくはない。</p> <p>ただ逆の意味で衝撃的なのは、それだけ安いのに特に三重交通バスが減ったとかいうことはないでしょ？4人とか6人ですから、観測できないですよ。ね。志摩で、1日に6人だったらあんまり減ったとは思わない。とすると、本当にやっぱり、みなさん切実にこれが大事だと思って、本当に困っていて大事だけどよくわからないから勉強しようという風に思っていないので、もっと本気になればよって言いたくなりますね。</p> <p>前向きにやるっていうなら、難しい人へ簡単に教えてわかるようなテキストと一緒に作るとか、地域で懇談やるとか、せっかくお金をかけているのだから、実験のうちにそういうのをどんどん仕掛けましょうよ。この、今配っているチラシはよくわかんないって言われているから、一緒になって考えよう。作ったら撒いて、またみんなの意見を聞いて、その時に一緒にこうやって作ったんだから、あなたも使いましょうと。広がるっていうのはそういうのを言うんですよ。そういうことをやりましょう。本気にならなかったら、これはだめですから。</p> <p>今、この話で、黙っていても走っていた志島循環線がなくなるかもしれないと思った時に、変な話、どっちを選択するんだということにもなるでしょ。ちなみに今日、志島循環線に乗ってここに来ましたけど、僕は福祉センターで降りましたけど6、7人うらじろ方面に行かれました。ああいう人たちが1、2年後にはデマンドになるかもしれませんよね。そこで、今後デマンドに乗ってくれるのか聞きたくになりました。志島循環線に乗っている人がこれに変えられるかどうか、そういう聞き取りをすとか、教えるとかをやらないうといけないと思いますよ。この11月からの実施のなかにそういうことって考えていますか。</p>
事務局	<p>はい。ご意見受け止めて、利用者の方の声であるとか、もう少し持続可能な公共交通にできるかという部分をしっかり捉えながら取組を進めていきたいと考えています。</p>
委員 B	<p>こんなに厳しくなるのは、今ちょうどオンデマンド交通について学会への論文を書いているからっていうところもあります。学識者をもっと活用して</p>

議長	<p>いただきたいと思います。</p> <p>今日聞いたことは、色々なところで聞いて痛い目にあってきたところばかりなんです。「他で言っているけど、ここでやってみないとわからないからやってみる」ってみんな言いますが、結局なるんです。人の考えはそう変わらないから、そこはもう少し謙虚になって聞いてもらいたいです。内容的に悪いものを見過ごすわけにはいかない。なぜかという、結局お金が足らなくなるとか、思ったより役に立たないから続かなくなるとか、そういう将来が見えるわけです。だから今、この会議で議論することで回避したい。だから、みなさんも考えてほしいです。もちろん事務局はそうです。あと、地域はやっぱり、これだけ安いものをしていただいたのに活用できないというのは情けないことだと思ってほしいです。ただ情けないのは、やり方が悪いのかもしれないし、本当に知らなかったからか、勉強不足だったからかもしれない。今日、いろいろ問題点というか論点を提示したので、市役所も地域のみなさんも一緒になって、ひとつひとつ考えなおしてやってほしいです。必要があったらちゃんと助けるという部分だけやりますので、ぜひよく考えてください。</p>
	<p>ご指摘の点、ごもっともであります。それで、我々としては「のりあい」をこれからも志摩市にとって大変必要なものであるということは認識していますけれど、やはり事務局の方も、中々わからない中、手探りで進めてきたということで反省すべき点は多くございます。そのうえで、ご指摘いただいたように市民のみなさま、事業者のみなさま、さまざまご意見をいただきながら、いま一度、次の会に向けてしっかりと分析を再度行って、方法、それからどのように市民を巻き込むのか、を含めまして提案させていただき、承認を賜ったのちに次回の第2回を進めていきたいと思っておりますので、委員のみなさま、どうぞご協力いただきますよう、お願いいたします。</p> <p>令和5年度デマンド交通実証結果と令和6年度運行計画については、有意義な議論を進めることができませんでした。時間の都合もありますので、報告事項2の方に移らせていただきたいと思っております。</p> <p>報告事項2は、高校スクールバスの運行見直しということです。これは令和5年度の最終回におきまして、三重交通さまからご提案いただいた内容でございます。その運行見直しについて、この公共交通会議で謀っていくべき内容であったという反省も含めまして、運行見直しが行われているわけですが、改めて公共交通会議の委員のみなさまにその経緯等ご説明するという事で前回お約束させていただきましたので、その約束に基づいてご説明させていただきたいと思っております。事務局、お願いします。</p>
事務局	<p>高校スクールバスの運行見直しということで、資料2の方をご覧ください</p>

<p>委員D</p>	<p>ますようお願いいたします。</p> <p>【資料2の説明】</p> <p>今回スクールバスの運行見直しを、事後報告となりまして大変恐縮ですが、令和6年4月1日に実施をされました。詳細につきましては、三重交通のD委員の方からお願いできればと思います。</p> <p>三重交通のDです。お手元資料の19ページ20ページにつきましては、学生の利用者数の減少など記載されております。内容としましては、伊勢方面への高校スクールバス専用便を、登校便が5便あったのを3便に統合、下校便については4便あったのですが非常に利用者が少ないということで1便のみの運行とさせていただきます。また志摩市内で完結する志摩高スクールにつきましても、利用者数の減少に伴い廃止、一般路線バスで登校していただくというところです。水産高校の方につきましては、やはりまだまだ生徒さんもみえるということで、これは現状維持となっています。</p> <p>主な統合内容、変更点につきましては、1つは皇学館高校の生徒さんがバス停からかなり遠いということで系統を変えてということもございます。そして次の、高校スクールバスの運行見直しというところで、21ページに図が書いてあります。統合便については記載の通りです。今まで志摩方面から走っていた4台を3台に。そして宿田曾、宿浦から宇治山田高校へ行っているスクールバスにつきましても廃止ということで、路線バスを逆に高校に間に合うように運行しているということです。この路線バスにつきましては、シートの背もたれを少し高いハイバックシートにして乗り心地をよくするように、と変更しています。</p> <p>志摩高校につきましては右が下校便となりまして、16時の御座の方へ行くスクールバスですが、これは継続。そのあとの3本につきましては、路線バスに乗っていただくということです。この、17時台、18時台の路線バスにつきましては、山商口経由に経由地を変更して運行しております。</p> <p>このようにスクールを廃止、または減便、統合ということで事前に皆様方にお知らせしていなかったところは、こちらとしても反省点でございます。このような高校生の減少に伴いまして、高校生には若干不便をかけるのですが、通学の脚の確保というところで、路線を変更したりということをしていただいた次第でございます。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。これにつきましては、すでに見直して、今ご説明いただいた内容で運行しているということで、ご意見をいただく場面はないと判断しまして報告ということで議事2を終わらせていただきたいと思います。</p>

事務局	<p>ます。</p> <p>それでは、議題3で、路線バス地域間幹線御座線、宿浦線、五ヶ所線のダイヤ改正等ということで、これについては、先ほどの高校スクールバスの運行見直しを踏まえまして、事前にこの場でご意見をいただきたいということでご提案いただきたいと思います。事務局、よろしくお願いします。</p> <p>はい。続きまして、路線バス地域間幹線御座線、宿浦線、五ヶ所線のダイヤ改正等についてということで、先ほど議長の方からご説明いただきましたが、令和6年10月1日を予定といたしまして、現在運行事業者さまである三重交通さまの方で検討がなされているところです。そのうえで、運行事業者さまの方から、ぜひ地域公共交通会議でみなさまからご意見をいただきたいというご相談をいただきましたので、今回このような形でご報告とさせていただきます。実施理由に関しましては、先ほどのスクールバスと同じように、運転手の確保という大きな課題が今、生じているという認識を持っておるところです。詳細につきましては、引き続きD委員からご説明をお願いできればと思います。</p>
委員D	<p>はい、それでは私の方から路線バスの改正案としまして、この場でご提案させていただきますと思います。冒頭、中部運輸局さまからバスの乗務員の成り手不足などの話があったかと思います。当社も例外ではなく、バスの運転士確保という部分では非常に苦慮しておる次第でございます。資料3-2、後ろの方に3枚くらいめくっていただきますと、バス運転者の改善基準告知というのが改正されます。既にこの4月から変わっているわけですが、これに伴いまして、今まで夜の睡眠時間8時間以上というところが9時間以上となりました。必然的に、出勤から退社まで一日会社にいられる時間が、今まで16時間までは認められていたのが15時間に抑えないといけない、ということでございます。そういったことから、基準をクリアするためにダイヤ改正等を行いながらいろいろやっておるわけですが、今後、バスの運転士がなかなか確保できないという風になっていくと、なんらかの手段をしていかないと、というところでございます。それで、この御座線、宿浦線につきましては、いったんこの4月にスクールバスを統合、廃止等をさせていただきました。</p> <p>この御座線、宿浦線については、こういったスクールバスの減便もあるということで、ちょっと保留していた部分でございます。御座線についてはですね、19時7分磯部発御座港行きというのがありますが、これについても拘束時間、休息時間の確保という観点から、これを減便させていただきたい。これを減便するにあたり、その前後のダイヤで伊勢市駅発御座港行きの経路を徴古館から山商口に経路変更し、伊勢学園高校、宇治山田商業高校の</p>

利便性を確保。徴古館から変わると皇学館高校の生徒さんはどうするのか、ということですが、場所は違いますが距離があまり変わらないというところで、伊勢病院からご乗車いただけます。

それから宿浦線については、朝、磯部発6時30分の宿浦行きというのがありますが、これは実態として利用する方がいらっしゃいません。ですので、磯部バスセンターから宿浦へ回送し、約23分の短縮になると休憩時間や拘束時間の短縮になります。それから最終の、宿浦発19時10分磯部行きを減便とさせていただきたいというところがございます。

あと、日赤病院の乗り入れにつきましても、1往復、これを伊勢市駅前留めの短縮、なおかつこれは御座線へ振替というところなんです。この、昼の日赤の便につきましても、志摩方面から日赤へ通われる方はいません。日赤までの便が減るということですが、伊勢市駅から日赤方面につきましても、伊勢営業所が運行しております市内の路線バス、おかげバス、日赤のシャトルバス等が出ておりますので、お客さまの不便さは大きくないと思っております。

それと、五ヶ所線についてはですね、磯部バスセンター発着便、これを磯部駅まで延伸ということがございます。これについては、補助要件の充足ということがございます。あと、平日のみですが、磯部から五ヶ所を2往復増便と、五ヶ所から伊勢を1往復増便、充足というところを考えています。

1枚めくっていただきますと、御座線、宿浦線の時刻表があらうかと思えます。右の上に上りと書いてあるのが、御座、宿浦からの上り便でございます。宿浦から上がってくる便、11時1分磯部バスセンターは、本来11時52分日赤に、というこれを磯部バスセンター止め。かわりに御座から来る便を伊勢市までとし、その分をカバーしております。それから、夜、宿浦19時10分磯部バスセンター行き。たまに1、2名乗られるお客さまがみえますが、鶴方へのお買い物かと思われ、定期券の利用者はございません。お買い物のお客さまについては、その前の18時10分宿浦発をご利用いただきたいと考えております。また、帰りの便についても、このあとの便がございますので宿浦方面にはお帰りいただけると思っています。

そして、磯部バスセンター6時30分宿浦行きをこれはもう、なくしてまいりたいと思っております。実態としては、先ほど説明させていただいたように利用する方がいらっしゃいません。それから昼間の便ですが、これは、変更の時間帯。それから夕方、17時52分伊勢市発の便が徴古館経由でしたが、これを17時45分発の山商口経由に変更です。それから18時52分、これが18時45分の山商口経由で、学生の帰りの便を確保ということでございます。そして19時7分磯部バスセンター発御座港行きの便を減便とさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願います。

また五ヶ所線については、11時33分、13時36分、18時42分という便、これは時間の変更というところがございますので、よろしく願います。

議長	<p>します。</p> <p>当社として10月ダイヤ改正に向けて、今調整を進めておるところでございますので、委員のみなさまからご意見等をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>はい、D委員ありがとうございました。ただいま、御座線、宿浦線、五ヶ所線のダイヤ改正についてご説明いただきました。委員のみなさま、ご意見、ご質問ありましたら受けたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
委員 B	<p>はい、いいですか。五ヶ所線、磯部駅前、延伸をずっと申し上げていてやっていただいたので、ありがたいなとは思っています。ただ、やったら、ちゃんと磯部で乗り換えてくれる人を増やしていかなきゃいけないということで。延長しているのに乗らないのなら、15人割れしているのもっと下がってしまうので、ここは気合入れてやらなきゃいけないところだと思っています。これは、志摩市としても、南伊勢は磯部からも行けるということをきちんとアピールしていかなきゃいかんと思っています。</p> <p>確認ですけど、鵜方駅で発着して御座とか宿浦へ行くっていいんですけど、多くは磯部から出ます。営業所なので戻った方がいいということなのでしょうけど、私がこの間乗った時も10分以上遅れた。運用的にも、鵜方から磯部まで行くというのは、利用はそんなに多くなさそうな気がする一方、渋滞などして遅れるとなると、もちろん戻るのは勤務の関係で当然あるとしても、もう少しここは効率化できないかなと思っていたんです。結局、磯部あるいは伊勢市から、宿浦も御座も両方出てくるので、近い時間に結構重なっているというパターンかな、と思ったので。あるいはもし、続けるのだったらプラントとかがありますので、そこへ行っていただけるように、もしかするとプラントとかが行けるっていうのをあまり認識していないかもしれないので、そういう喚起をしていかないといけないと思っています。もう少し効率化できるのか、できないなら、この磯部、鵜方って本数が実は多いところになるので、だったらむしろ活用できないかということ、考えなくてはいけないと思っていますのですが、いかがでしょうか。</p>
委員 D	<p>はい、ありがとうございます。おっしゃるように、磯部、鵜方の間というのは乗車人員のわりに本数が多いところがございます。それは、磯部がバスの乗り換えという認識で、伊勢から宿浦行きで出てきたら、磯部から御座行きに乗り換え、というパターンです。それともう一つ。先ほどおっしゃったように、乗務員の食事、休憩など、乗務員の休憩施設というのが、磯部バスセンターしかないというところがございます。今後、やはりラインを見直すとともに、鵜方から効果的な運用というものを、本社乗り合い担当とも話をしな</p>

	<p>がら進めていきたいと思います。</p> <p>そしてプラントのお話ですが、あそこに乗り入れたらどうかと、あの近くにバス停をとという話も過去に出た記憶がございます。現在、ここにバス停を置けるかということ警察とも相談しましたが、交通量が多いという中々前へ進まなかったという現状です。またプラントの方も、今後、検討しながら回送に変えていくことも、前向きに考えていきたいと思います。</p>
委員 B	<p>わかりました。宿浦、御座線と、五ヶ所線乗り換えるのなら磯部からでいいですけど、やはり宿浦、御座線どちらかに乗って伊勢市の方から、あるいは僕がよく行っている浦田町からくる場合に乗り換えるのだったら鶴方の方が自然だと思うので、そこはやはり食事の休憩があるのはよく承知していますが、1本でも2本でも鶴方から出した方が効率化するだろうな、と。鶴方は休憩できる場所ではないのですね。</p>
委員 D	<p>休憩スペースはありますが、休憩施設とは言い難いです。</p>
委員 B	<p>そうなんです。そこが問題になるので、本当はもしかすると志摩市さんとかでそういう所を確保するようなことをするともっと効率化する可能性があるんですよ。例えばそういうことも考えてやると、実は重複して走っているものを効率化して休憩していただいて、1本でも遅い便を作るとか。そういうふうにはできると思うので、少し突っ込んで考えてほしいな、と。</p> <p>それと、さっき私が鶴方から磯部まで乗ったというのをどうして言ったかという、それはダイヤ的には接続しているはずなのに、10分遅れたからほぼすぐに乗り換えになったということで、それに乗り遅れたら他の会議に遅れていたということなんです。本当に冷や冷やして、運転士さんにも聞いたのですが、少なくともその部分では接続は考えていないと言われたので。今は、宿浦、御座線の伊勢市方面の接続って、磯部ではきちんとやっているのですか？やっているなら言った方がいいです。</p>
委員 D	<p>接続といいますか、乗り換えできるようにダイヤの方を組んでおります。それで、これについてもあまり遅れるようであれば、乗務員から連絡を受けてちょっと待っていただく、というような形をとっております。</p>
委員 B	<p>わかりました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ほか、ご意見ありましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。また何かありましたら、事務局を通して三重交通さんにお伝えしたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>

事務局	<p>続きまして議事の4つめです。「自家用車活用事業にかかる実証事業」ということで、この案についてはまだまだ検証段階でございますので、みなさんへの情報共有ということで事務局の方から説明をお願いします。</p> <p>はい、失礼いたします。先ほど議長からご説明がありましたけれども、まだまだ案が深めきっていないような部分ではございますが、説明させていただきます。</p> <p>【資料4の説明】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。この「自家用車活用事業」は、市民というよりは観光客向けということで志摩市としても考えているわけですが、実施にあたっては、冒頭、委員B先生が言ってくださったようにいろいろアドバイスをいただきながら進めていくとともに、委員のみなさまには、さまざまなお意見を賜って有益な実証事業になるように務めていきたいと思っております。アドバイスやご意見等ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員B	<p>これ、事業者は決まっていますか？</p>
事務局	<p>はい、事業者につきましては市内のタクシー事業者で現在調整中という状況でございます。</p>
委員B	<p>そうすると、ドライバーはそれぞれ募集されるのか一斉にして割り付けるみたいなことになるのか、それから養成とか研修もあると思うのですが、もう直近でしょ、どうやってやるんですか？</p>
事務局	<p>はい。昨日補正予算が認められたということで、正式にはこれから募集はかけていくところですが、事業者さまにつきましてはそういった準備も進めているということを聞いております。事業者につきましても、市内3社のタクシー事業者がいますが今回の制度がアプリというところが条件になってきますので、そのあたり限られてくる条件になるかと思いますが、募集をしていきたいと思っております。</p>
委員B	<p>アプリ必須というのが、ここでは現実的でない気がしますね。現状、デジタル車活用事業を、ここでやるのがどうなのかというのはひっかかったのですが、やるのはやってみたらいいかなと思いましたが。あと、先ほどのアプリで、志摩市内だったらどこでもできるっていうことでいいでしょうか。</p>

事務局	はい。現在の想定は志摩市内をエリアとして考えております。
委員 B	それは、タクシーとは全然別の予約になるんですか？タクシーアプリで、ライドシェアが選べるとなったら選ぶ、それも入ってくるっていうものになるんですか？
事務局	タクシー協会さま、ご説明の方をお願いします。
委員 E	資料と、現在進んでいるところで若干違うかもしれないので、お許しいただきたいのですが、今3社タクシー事業者のうち、今回の「自家用車活用事業」というのが、ご存知のように発地点と着地点が先に決められてしまいますので、アプリによらないとならないという形になっていると思います。それで、その時にアプリの中で、ライドシェア自家用車活用事業の車でもいいですか、ということをお先に問いかけてもらうような仕組みになっていまして、いいよという方にはその車をご用意できる、そうではなくタクシーの方がいいという方には従来と同じになると思います。以上でございます。
委員 B	<p>もし、鵜方駅で18時から24時まで受けることが主だとしたら、このやり方だとあまり適切でなくて、世間的には三浦市の例が有名ですけど、この3号ではなくて78条2号の、いわゆる自家用輸送の一般的なものでやられたほうが待ち受けできるし、ドライバーさんが1種の方であっても事業者協力であればかなり一体的にやれるので、例えば鵜方駅あるいは周辺で受けるのならそっちの方がやりやすいのかな、とも思いました。</p> <p>あと運賃は、2号だから8割って言っていますが、これは目安で、別にタクシーと一体的にやるのだったら10割でも。2号だと、この会議で議決すれば10割でタクシー料金と同等でできるので、その方があるかなと思っていたのですが、この3号でやられるっていうのは、私が考えているのとは狙いが違うのですかね？この18時から24時の移動っていうのは、具体的にどういう移動ですか？待ち受けだったら、さっき僕が申し上げた方がいいと思うのですが。</p>
事務局	今回の実証で想定しております移動課題については、おっしゃる通り鵜方駅を出てきて、そこからお食事など済まされてホテルへ帰られる方もそうですし、例えば聞いているのは、ホテルでお食事を済まされたあと2次会的に鵜方駅の周辺へ出掛けられるとか、そういった方についてタクシーをお待ちいただくことが出ているなかで今回実証したいと、そういうイメージでおります。

委員 B	<p>そうすると、ホテルの方でアプリで呼び出しされて乗られるということも想定されますか。</p>
委員 E	<p>どちらかという、ホテルからの方が多いかもかもしれません。</p>
委員 B	<p>それだったら3号であっても、利用者にとっては自分で呼び出すのではないので、タクシー呼んだよと行って来たのがライドシェア車両だったと。もしかしたら本人は嫌かもしれない人がいるかもしれませんが、逆に、そういう珍しいことやっているからぜひ乗ってねという、そのアンケート取ったりしたら非常に有意義だと思うので。全国的にはそういう事例はないのでやられたらいいと思うんですけど、やっぱり3号ということで呼び出すのが面倒くさいとかあったとしたら、ちょっと。</p> <p>あと、雇用ですからこれは。運転士さんが18時も少し微妙でしょ。17時まで仕事していて18時はちょっと難しいとかなるので、いろいろ懸念されるところはあるのかな、とは思いました。</p> <p>いずれにしてもやってみないとわからないと思うので、やられたらいいと思います。</p> <p>あと、事業費は、何に使うのですか？</p>
事務局	<p>事業費につきましては、今回どの程度需要があるかまだ見込めないところもありますので、人件費の負担の部分ですとか、ドライバー管理に必要な備品関係、アルコールチェッカーとかそういうものの支援、あと車両管理にかかりますドライブレコーダーなど。あとは、この事業を周知啓発していく費用と、先ほどいただいたようなことも含めて調査するような費用というところで考えております。</p>
委員 B	<p>それは、ここに書いてあるタクシー車両を活用すればいらぬ費用もありそうですね。</p>
事務局	<p>そうですね。タクシー車両を使えば不要な部分も出てくると思います。</p>
委員 B	<p>タクシー車両は余っているのですか？</p>
委員 E	<p>日によっては余っていると思いますので、いま概ね3台となっていますので、もしかしたら1台2台はタクシー車両を使うのかな、と考えています。</p>
委員 B	<p>わかりました。やはり人件費を算定するのが、ちょっと大丈夫かなと。ど</p>

	<p>うしてかという、タクシー運転手さんのには、自分たちは優先されるけど普通に呼び出されて、ライドシェアドライバーが少し割り増しされたとしたら、同じでも納得いかないのに割り増しだっただけです納められないって可能性はあると思う。例えば、研修とかについてはいろいろ減免されるとか、そういうところでやった方が合理的かなと思います。</p> <p>あと、研修もいろいろあると思うので、そのあたりのことをどうするのかということなのかなと思いましたが、いろいろ感じたので申し上げました。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他によろしいですか。</p>
委員 F	<p>三重県の交通政策課の F と申します。今回のこの「自家用車活用事業」を志摩市さんにやっていただくのですが、実際に使っていただかないといけないということで県の方でも PR 等させていただいて。あと、先ほど先生に言っていただいたとおり、観光型ということで新しい取り組みだと思います。三重県は他にも観光地がございますので、うまくいけば他のところにも展開できるのかと思っており、支援していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは最後に、志摩市地域公共交通会議設置要綱について事務局から、少し時間が過ぎていきますので端的に説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【設置要綱資料の説明】</p>
議長	<p>ありがとうございました。設置要綱の一部改訂についてご説明させていただきました。委員のみなさん、何かご意見ございましたらお願いしたいと思いますけど、よろしいでしょうか。</p>
委員 A	<p>三重運輸支局です。設置要綱の一部改正ということで、委員を少し集約されるような方向かと思えます。地域公共交通に関する会議体ということもございますので、利用者の方の声、地域の方の声を、地域懇談会ですとか自治体単位とかの集まりでうまく拾い上げて吸い上げられるような仕組みを意識していただいて、今後の協議会で引き続き、一層活発な意見交換につながるような心持ちで、私自身もそうですけど、よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>はい。アドバイスありがとうございます。他、よろしいでしょうか。</p>

委員 B	副市長がまったくいなくなったらどうしようかと思ったんですが。副市長が議長で続けられ、市長は、会長で委員として入るとするのはどういう意図なのかとっていて、人によっては議長じゃないので好き勝手言いたいことを言うという方もおられ、あるいは議長をやっていると捌きがあるので本当に黙って聞いている人もいていろいろですけど、お気持ちはどういう感じなんですか？
議長	市長の思いとしては、この会議に参加したいということで、「のりあい」であったりライドシェアであったりバスであったり鉄道のことを、さまざまな場面において、市長の判断で回答が多くなるということを我々は予想しております、安心して答えられるように、会議にしっかり集中して参加させていただきたいなという思いでそういう役割分担させていただきました。
委員 B	わかりました。数多の地域公共交通会議の委員をやっていましたけれど、市長がおりて副市長を出すっていうのはよく見てきたのですが、市長が出るなんて珍しいことだと思います。非常に身が引き締まりますので、くびになるまでは、言わなければいけないことは言い続けようと思います。
議長	<p>ありがとうございます。本当に志摩市の場合は半島が主な町でございまして、そういう点ではライドシェア、あるいは2号を含めて考えていきたいと考えております。市民のみなさんは高齢化しておりますので、しっかり脚を確保する。そして学生の脚を確保する。その3点ですね。観光、学生、高齢者。これにしっかり我々も寄り添いながら、この交通をやっていきたいと考えておりますので、その上において市長がしっかりリーダーシップを取って進めていきたいと思っておりますので、今後ともみなさんよろしくご協力いただけますよう、お願い申し上げます。</p> <p>それでは委員のみなさま、その他のところでご発言ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員 A	設置要綱の一部改正のところ、細かいところですけど、資料5-3で志摩市公共交通会議の設置要綱 第2条の本文1行目、但し書きのところ。第4号は料金、運賃はなく、これはおそらく第2号の料金、運賃に関する事項だと思いますので、もし誤り等であれば設置要綱の改定をまたお考えいただければと思います。
議長	事務局、どうですか。
事務局	はい、ご指摘ありがとうございます。改定で対応したいと考えております。

委員 B	<p>ありがとうございます。</p> <p>あの、地域間幹線は五ヶ所線が両方とも15人割れになっているということで、今回は、増便すると少しでも増えるので10人を超えるという策をやられていますけれど。五ヶ所の磯部へ行く1本については、南伊勢高校の南勢校舎が募集をやめたので、志摩高校へ南勢方面から行く人が増えたので利用が出てきたということがあります。全国的にそうですけど、高校がなくなるとか統合されることによって、バスの利用や電車の利用が増えることがあるということで。本当は、高校も残っていき、バスも残っていくということじゃなきゃいけないですけど、最悪なのは両方ともなくなってしまうことです。そういう意味では、高校は1個なくなるけど、バスに乗っていただいてそれで15人超えてくる、さらに磯部行きも乗り入れることで五ヶ所線ももう1回生まれ変わることができるようになるので。何か施設の動きがあることと地域間幹線がどういう風な状況で、どういう風に増やしていけるかっていうことを連動して考えないと、という話をしています。</p> <p>ぜひ、そういうところをウォッチして、できる限り乗っていただいている方に、そこから観光だとか、こういう路線があるからこういう行き方ができるよ、という情報発信を事務局とか事業者さんもどんどんしていただけるといいなと思います。</p> <p>磯部駅の件で、磯部駅から五ヶ所へ行きやすくて今も行けるんですけど、歩いて磯部バスセンターまで10分かかるので、少なくとも駅のなかに五ヶ所行きっていう乗り換えのことを書いていただくとか、そういうことをぜひPRしていただければと思います。お願いします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、事務局、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>はい。この後、5分取らせていただきまして、15時25分から離島航路幹事会の方を開催させていただきたいと思います。航路幹事会の委員の方は、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p>